

朝日山地でニホンジカの アコースティックモニタリングを実施

朝日山地では、ニホンジカの鳴き声を録音・解析して、その生息実態を調査する「アコースティックモニタリング」を実施しています。9月2日(木)にそのためのレコーダーを、当センター職員により設置してきました。



過去にニホンジカの日撃情報が寄せられた地域に設置します。この朝日山地では5カ所設置予定です。

従来のセンサーカメラによる調査でニホンジカの存在を確認するには、直接にその姿を撮影する必要があります。

アコースティックモニタリングの利点は、近辺にニホンジカが生息していれば、直接に装置と接触しなくても、その鳴き声により、生息実態を推定することが可能なことです。



昨年度の調査では総録音時間1250時間のデータから、ニホンジカの鳴き声は確認されませんでした(これは幸いと言うべきか)、山形県全体では確実にその日撃情報は積み重なってきています。

当センターは今後も朝日山地の貴重な生態系を保全するため、地道に活動を続けていきたいと考えています。